

危険・注意情報

(H31. 1. 31現在)

大分県の主要な3つの山系についての説明です。
登山計画時の参考にしてください。



くじゅう山系

主な山岳 ～ 久住山、大船山、平治岳、黒岳

- 積雪するので、アイゼンなど冬山用の装備が必要な場合があります。
- 通行不可（廃道路線・通行禁止路線）次の10区間
 - ① 大曲り～星生山山頂
 - ② 指山山頂～三俣山北峰
 - ③ 三俣山小鍋～雨ヶ池
 - ④ 牧ノ戸法華院線（中岳分岐～白口谷～法華院）
 - ⑤ 本山登山道（呼子山分岐～鳴子山）
 - ⑥ 赤川扇ヶ鼻線（扇ヶ鼻～元レストハウス）
 - ⑦ 獵師山一目山線（獵師山～一目山）
 - ⑧ 湯坪～おむすび山～大崩ノ辻～黒岩山泉水山線
 - ⑨ 本山登山道（稲星山・呼子山分岐点）
 - ⑩ 平治岳～北尾根ルート
- 坊ガツルから長者原に向かう途中の雨ヶ池越コースでは、雨ヶ池手前付近にある分かれ道で左側の登山コースに進むと、三俣山北側の雑木林に迷い込みますので注意が必要です。
 - ※ 「迷ったな」と思ったら、早めに引き返す勇気が大切です。
- 沢水（そうみ）登山口から稲星山に向かう登山コースは、岩場が多くなっています。
- 瀬の本登山口から扇ヶ鼻に至る登山道は、冬場は落ち葉により登山道がわかりにくくなります。
- 平成30年3月に久住山で、高齢男性が宿泊予定場所にキャンセルの連絡をした後、行方が分からなくなり、後日発見されたが死亡が確認された事案が発生している。

祖母・傾山系

主な山岳 ～ 祖母山、傾山、障子岳、夏木山

- 祖母・傾山系は、登山歴が豊富な登山者であってもガイドタイム以上に時間がかかります。
- ビバーク装備、照明機器の装備は準備をしましょう。
- 急峻で難コースが多く、登山道を外れて滑落・転落する遭難事故が発生しています。
- 祖母山黒金山尾根コースは、荒れている場所が多くなっています。
- 祖母山頂から、傾山に向けて約100^ヶ地点の「はしご」設置箇所は、滑（転）落のおそれがある危険箇所です。特に12月から4月上旬までは、梯子が凍結し滑るため、特に注意が必要です。
- 傾山三ツ坊主コースは、岩場が多く、滑（転）落のおそれがある危険箇所です。
- 傾山九折コースの観音滝は、転落事故の多発地点です。
- カンカケ谷から九折林道までの間には、岩場で急斜面の場所があります。
- 傾山西山（払鳥屋）登山口から山頂までのコースは、ほとんどが急勾配で体力が必要です。
- 祖母山から傾山の縦走は、長距離であり、急峻であるため、強靱な体力が必要です。
- 祖母傾山系では、無線機や携帯電話の電波の届かないところが多くあります。電池の消費も激しいので注意が必要です。
- 平成30年5月に傾山で、中年男性が登山道から約5メートル下の斜面に倒れているのを登山者に発見され、転落したものと思慮する状況で死亡が確認されています。

由布・鶴見山系

主な山岳 ～ 由布岳、鶴見岳、内山

- 登山道が崩落等している箇所があります。
- 由布岳は、マタエ等にある注意喚起看板を確認してください。
- 鶴見岳山頂から馬の背に向かう途中にある赤池には噴気孔がありますので、注意が必要です。